

世界音楽の祭典 in 浜松 2016

～世界音楽を体感する四日間・音楽の多様性と創造性を目指して～



平成28年3月9日
市民部 文化政策課

1.はじめに

浜松市は平成 26 年 12 月にユネスコ創造都市ネットワーク音楽分野の加盟都市として認定されました。アジアで初、日本で唯一の音楽の創造都市として、これまでの国際的音楽イベントの開催や浜松市楽器博物館における世界の楽器と文化の紹介、多文化共生の取り組みなどの実績を活かし、音楽を通じた文化的多様性の実現に向けて貢献していきます。

ユネスコの音楽都市として平成 27 年度は「世界創造都市フォーラム in 浜松 2015」を開催し、音楽の多様性と創造性、新たな可能性について世界の音楽都市と議論を深めてまいりました。

フォーラムの開催成果に基づき、平成 28 年度は「世界音楽の祭典 in 浜松 2016」を開催し、ユネスコ創造都市音楽分野の加盟都市と協働しながら「世界音楽」をキーワードに“世界の多様な楽器と音楽文化がジャンルを超えて融合しクロスオーバーする新しい形の音楽祭”をオール浜松体制で浜松から世界に発信します。

ユネスコ音楽都市はままつ推進事業として開催するこの音楽の祭典を通じて、浜松市はアジアにおける音楽文化の創造と交流の拠点都市として国際舞台における音楽都市のプレゼンスの向上を目指します。

「世界音楽」は世界各地の多様な音楽様式を包摂するものであり、世界の音楽や楽器を混成し舞踊や衣装なども含んだハイブリットな曲目など、多様な文化の融合が新しい音楽文化の創造を目指します。

2.開催テーマ

テ ー マ : 「世界と響き合う新しい音楽文化の創造」

サブテーマ : 音楽の多様性と創造性、伝統と革新、浜松と世界

3.音楽祭の基本コンセプト

「アジアの音楽文化の交流拠点・浜松×世界の音楽都市」

音楽産業技術、音楽文化施設、地域の演奏家・音楽団体など浜松の貴重な音楽資源を最大限に活かし、世界の音楽都市とのコラボレーションによって新たな価値創造を目指します。

音楽祭ではクロスオーバー、異種配合、融合をキーワードに新たな音楽表現を追求します。

4.音楽監督

三宅 純 (作曲家・編曲家・トランペット奏者/フランス・パリ在住)



(C)Jean Paul Goude

ワールドミュージック (World music) とは、音楽のカテゴリー (ジャンル) のひとつで、世界各地の様々な様式の音楽を包括する概念であり、また (あるいは) 2 つ以上の文化的伝統が混交している音楽です。

このため、世界音楽の祭典の音楽監督にジャンルを超えた音楽表現で国際的な評価が高い三宅純氏に委嘱します。

三宅純氏は作曲家であり編曲家、トランペット奏者。3,000 作を超える CM 作品の中にはカンヌ国際広告映画祭、デジタルメディア・グランプリ等での受賞作も多く、ピナバウシュ、ロバート・ウィルソン、オリバー・ストーン、ジャン=ポール・グード(コマンドール勲章/フランス芸術文化勲章最高位受賞)、大友克洋らの作品に参加、個性的なサウンドは国際的賞賛を受けています。

2005 年秋よりパリに拠点を置き、精力的に活動中。最新アルバム” Stolen from strangers” はフランス、ドイツの音楽誌 で「年間ベストアルバム」「音楽批評家大賞」などを受賞。ギャラリーラファイエット・オムの「2009 年の男」にも選出されました。

「パリ・テキサス」「ベルリン天使の詩」で名高いドイツを代表する世界的な映画監督であるヴィム・ヴェンダース作品「ピナ/踊り続けるいのち」に提供した主要楽曲は、ヨーロッパ・フィルムアワード 2012 受賞、BAFTA award (英国アカデミー賞)2012 およびアカデミー賞 2012 にノミネートされました。

5. 音楽祭の概要(案)

(1)開催期日

平成28年11月3日(木・祝日)～6日(日)の4日間

(2)開催会場

アクトシティ浜松 大ホール・中ホール、研修交流センター音楽工房ホール、浜北文化センター、雄踏文化センター、天竜壬生ホール、ソラモ、キタラ等公共空間

(3)プログラム構成

10月30日(日)	民族音楽プレコンサート	ソラモ
11月3日(木・祝日)	オープニングセレモニー 交流コンサート 街中コンサート	ソラモ アクト中ホール 浜北、雄踏、天竜壬生の各会場 キタラ
11月4日(金)	民族音楽スペシャルコンサート(室内) 交流コンサート	音楽工房ホール アクト中ホール
11月5日(土)	ワールドミュージックコンサート1部	アクト大ホール
11月6日(日)	ワールドミュージックコンサート2部	アクト大ホール

※11月5日のオープニングで浜松音楽物語を上演

※11月5日～6日の2日間で世界食文化フェアをサンクンプラザで開催

(4)参加アーティスト

ユネスコ音楽都市・友好都市等 100名(20都市×5名)

オール浜松

(浜松市内の音楽団体、演奏家等)

(内外で活躍する著名アーティスト)

※ユネスコ創造都市ネットワーク・音楽分野加盟都市(19都市)

ボローニャ(イタリア)、セビリア(スペイン)、グラスゴー、リバプール(英国)

アントワープ(ベルギー)、ボゴタ(コロンビア)、ブラザヴィル(コンゴ共和国)、ハノーバー(ドイツ)

マンハイム(ドイツ)、浜松市(日本)、アデレード(オーストラリア)、カトビーツェ(ポーランド)、

イダーニャ・ア・ノバ(ポルトガル)、キングストン(ジャマイカ)、メデジン(コロンビア)、

キンシャサ(コンゴ民主共和国)、サルヴァドール(ブラジル)、統営(韓国)、バラナシ(インド)

(5)その他関連イベント

民族楽器ワークショップ、世界の食フェア等を想定

(6)主催

ユネスコ音楽都市はままつ推進事業実行委員会／浜松市

6. プログラム内容(案)

【10月30日】民族音楽プレコンサート(ソラモ)

世界音楽の祭典に導くプレコンサートとしてソラモなどのまちなか公共空間で民族音楽の演奏を実施。世界音楽の祭典をPRする。※10月30日(日)にソラモで開催。
世界音楽への伝統的アプローチとして浜松市地域の伝統芸能の掘り起しも含めた事業を展開する。

【11月2日】前夜祭・歓迎レセプション(コンgresセンター31会議室)

世界からアーティストが集結。浜松市の音楽関係者を交え前夜祭を開催する。

【11月3日】オープニングセレモニー(ソラモ)

世界音楽の祭典のオープニングとして相応しいセレモニーや企画コンサートなどを開催する。

【11月3日】交流コンサート(アクト中ホール)

市民の音楽活動を紹介するコンサートとして開催する。

【11月3日】交流コンサート(浜北文化センター・雄踏文化センター・天竜壬生ホール)

市内音楽団体とユネスコ加盟都市から招聘したアーティスト、民族音楽の演奏家等によるサテライトコンサートを開催する。地域市民との交流を促進する独自プログラムを実施する。

【11月3日】街中コンサート(ギター)

街中の公共空間ギターを活用して市民バンド等の参加によるコンサートを開催する。

【11月4日】民族音楽コンサート(音楽工房ホール)

世界音楽の祭典における伝統的アプローチとして民族音楽に焦点を当てたコンサートを開催する。

【11月4日】交流コンサート(アクト中ホール)

音楽の祭典に相応しい企画交流コンサートを開催する。

【11月5日】ワールドミュージックコンサート1部(アクト大ホール)

①浜松音楽物語

映像と音楽による浜松音楽物語を実演。楽器産業の発展経緯も俯瞰し、音楽の都・浜松を国内外にPRする。

②友好都市セッション

浜松市が交流する友好都市、姉妹都市等から招聘した音楽団体・演奏家によるコンサート。観光、産業、国際など文化以外の国際交流の側面にも着目し、関係都市にアプローチする。

③ユネスコ音楽都市セッション1

ユネスコ創造都市ネットワークの音楽分野の加盟都市より招聘した音楽団体・演奏家によるコンサート。伝統音楽から現代音楽まで幅の広い演奏者のうち伝統と革新を組み合わせた新たな音楽表現を試みるユニークな音楽団体を招聘する。

【11月6日】ワールドミュージックコンサート2部(アクト大ホール)

①ユネスコ音楽都市セッション2

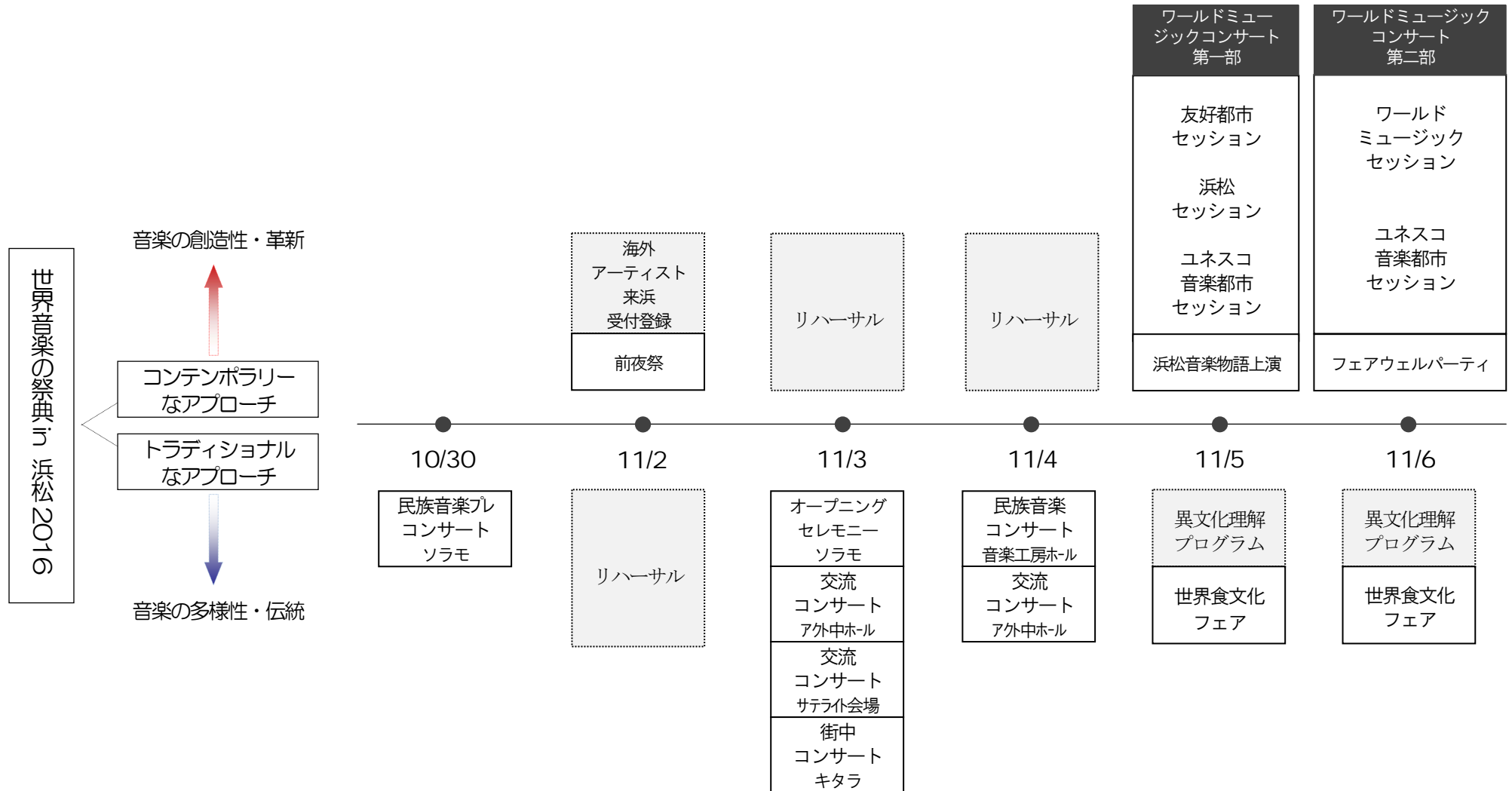
②ワールドミュージックセッション

世界の多様なジャンルを超えて生み出される新しい音楽の創造を浜松から発信する。世界音楽の祭典のメインとなるコンサートであり、テーマ曲は世界初演の曲目を披露。ワールドクラスで活躍する作曲家・三宅純によるアレンジで音楽の祭典の参加ミュージシャンを交えたコンサートを開催する。(終了後フェアウェルパーティを開催)

【その他】世界音楽・異文化理解プログラム(サテライト会場、アクトサンクンプラザ等)

世界音楽の祭典に併せて世界の音楽や異文化理解を促進するプログラムを企画する。ワークショップやミニ講演会、食文化など複数の切り口から浜松市民の国際交流を実現する。学校教育とも連携した体験型の事業を展開する。

7.世界音楽の祭典プログラム構成のイメージ



8.部会の設置について

ユネスコ音楽都市はままつ事業の中心である『世界音楽の祭典』への市民の積極的な参画を促すとともに、音楽都市としての本市の特色である多様な市民音楽団体や主催者育成セミナーの成果等をPRするため、ユネスコ音楽都市はままつ推進事業実行委員会の作業部会として、交流コンサートの運営に関して参画していただく「交流コンサート部会」を設置します。

(1) 部会名称

交流コンサート部会

(2) 業務内容

世界音楽の祭典における交流コンサートの企画・運営を実行委員会事務局との協働により実施する。

(3) 設置期間

平成28年4月下旬～平成29年3月末日

(4) 委員構成

部会長を実行委員である静岡文化芸術大学 文化・芸術研究センター研究員 富田晋司氏に就任いただくほか、世界音楽の祭典に出演を依頼する団体の代表や、主催者養成セミナー関係者などを中心に組織していく。

9.公式ロゴマークについて

世界音楽の祭典を幅広くPRする上で、事業イメージを伝える統一シンボルとしての公式ロゴマークを決定します。平成28年4月から決定したロゴマークを活用した広報ツールを作成し、効果的な広報PRを展開していきます。



THE WORLD
MUSIC
FESTIVAL
IN HAMAMATSU
世界音楽の祭典 IN 浜松 2016

CONCEPT コンセプト

音楽の共通要素であるビートやメロディ、創造性、音楽を愛する人類のDNA、そして「World」と「Music」の頭文字を波形で表現しています。無限のループを連想させる躍動感ある波形の動きは、地球というひとつの生命体が創り出す音楽の祭典への期待感や高揚感を醸成します。

COLOR カラー

赤い波形は血流・躍動・感動という誰もが持つ情熱(表情)を意味し、金の波形は理性・感性・創造という個々の心の奥底にある非凡な可能性を意味する色として採用しています。

DESIGN デザイン

赤と金(エモーションとカーム)の始点・終点をつなげ、球体の立体性、回転の動きの視覚性を高めることでコンセプトを集約し、世界の国々が音楽でポリフォニック(重層・多層的)につながるグローバルなシンボルとしての完結を目指しました。